

No.94

■発行／奈良市議会
■編集／奈良市議会だより
編集委員会



〒630-8580
奈良市二条大路南1-1-1
奈良市議会事務局
☎(0742)34-4734

奈良市議会だよりは年4回(2月、5月、8月、11月)の発行予定です。



しだれ桜が満開の大仏鉄道記念公園(法蓮町)

3月定例会

平成20年度予算 原案どおり可決 一般会計予算対前年度比5.7%増

平成20年度一般会計予算

	予算額 (億円未満を四捨五入)	対前年度比 (▲はマイナス)	市民1人当たり (4月1日現在、 千円未満を四捨五入)
	1,177億円	5.7%	31万8千円
【歳入】			
市税	560億円	▲0.3%	15万1千円
(うち市民税)	(297億円)	▲1.4%	8万円
国庫支出金	137億円	2.4%	3万7千円
市債	132億円	45.2%	3万6千円
地方交付税	122億円	5.0%	3万3千円
その他	226億円		6万1千円
【歳出】			
民生費	401億円	3.8%	10万8千円
公債費	179億円	11.8%	4万8千円
総務費	142億円	13.1%	3万8千円
土木費	135億円	▲2.8%	3万7千円
衛生費	117億円	3.9%	3万2千円
教育費	114億円	7.1%	3万1千円
その他	89億円		2万4千円

政務調査費の収支報告書の提出にあわせ領収書等の写しの提出を義務付ける条例改正案と議員報酬を5%減額する措置を平成21年3月31日までさらに1年間延長するための条例改正案及び行政組織の改編に伴い委員会の所管について所要の改正を行う委員会条例改正案を議員提出し、原案どおり可決しました。また、議員提出の意見書5件も可決しました。

**議員報酬を5%減額する措置を
さらに1年間延長**

本市議会は、平成20年3月定例会を3月4日から21日まで18日間の会期で開きました。この定例会では、市長から、株式会社奈良市清美公社の事業計画など報告16件、平成20年度一般会計予算など議案84件が提出され、議案83件はいずれも原案どおり可決、消防団条例の一部改正については修正可決しました。また、議員から提出された平成20年度一般会計予算の組み替えを求める動議は否決しました。このほか、3件の人事案件について原案に同意しました。また、老春手帳優遇措置事業の今後のあり方を調査・検討する老春手帳優遇措置事業検討特別委員会の設置と任期満了に伴う選挙管理委員及び同補充員の選挙を行いました。

可決した平成20年度一般会計予算は総額1177億円で対前年度比5.7%の増となっています。

質問と答弁

本会議

老春手帳優遇制度の見直しと 中心市街地活性化など議論

3月7日、10日、11日の本会議では、17人の議員（うち代表質問6人）が質疑・一般質問を行いました。今定例会では、市民税の減少など依然として厳しい財政状況の中、老春手帳優遇制度の見直し案による市民への影響や中心市街地活性化への取り組みなどについて質問がありました。以下は、質問と答弁の要旨です。

（代表質問には会派名掲載）

福祉

な利用実態には一定の抑止効果が見られ、極端な例はなくなると思われるが、利用回数の推定は難しい。

優遇制度検討委員会では、中心市街地の活性化に絡めた議論は出ていない。見直し案導入による買い物等のバス利用の動向は不明確であり、現時点での評価は困難である。

バス優待乗車100円負担で 外出や通院減への影響は

政 翔 会

問 老春手帳優遇制度の見直し案では、乗る度に100円の負担を求めているが、有料化で外出や通院を減らす人も出てくる。医療費や介護費にどの程度影響が出るか。また、バスに乗らなくなる人がどの程度出るか。商店街の売り上げや中心市街地活性化に及ぼす影響等マイナスマスの考えは。

答 1カ月に300回、400回もバスに乗車される意外

状況が多くなってきた。人生の基礎を培う大切な時期の発達に配慮し、3歳未満児については、いわゆる同和保育園に適用していた配置基準を全公立園に拡大しようとするものである。また、3歳以上児については、保育所・幼稚園と小学校教育との接続の重要性に配慮し、配置基準を定めていきたい。

保育士配置基準 見直しの内容は

問 公立保育園の保育士配置基準をどのように見直すのか。

答 配置基準は児童福祉施設最低基準により定められている。市では子どもの状況に応じて独自の配置を行ってきたが、近年、地域や家庭の子育て力の低下等で子どもや保護者を支援しなければならぬ

高齢者の医療費を安定的に賄うため、現役世代と高齢者世代の負担を明確にして、公平でわかりやすく持続可能な制度として導入されたものである。しかし、今後あらゆる階層に新たな負担が求められると予測されることから、制度運営上、常に給付と負担のあり方が重要な課題であると認識している。

今後、制度を運営し検証していく中で、必要があれば、広域連合を通じて国に要望していきたい。

後期高齢者医療制度 見直し等を求める考えは

日本共産党奈良市会議員団

問 後期高齢者医療制度の4月実施撤回、凍結や見直し等を国に求める考えは。

答 この制度は、年々増加す

（仮称）南部老春の家 事業の進捗状況は

問 （仮称）南部老春の家の建設の所要経費が計上されたが、過去さまざまな問題点が検討され結論に達したわけではない。建設に向けての進捗状況は。

答 平成19年8月公有財産の所管替えを行い、その後、地元各地区自治連合会長への説明と地元南永井町自治会に建設計画を知らせ、去る3月2日には地元の自治会で説明会を開催した。今後、地元と調整しながら随時説明会を開催していきたい。現在、宅地造成設計等の業務を実施するべく事務を進めており、20年度中には造成工事及び実施設計を行い、事業の推進を図っていききたい。

なる制度改正は、マニフェストに示しておくべきでは。三数十年続いてきたこの制度の見直しのように、半年の議論の結果が出ると即実行という姿勢に納得いかないが。

答 この制度は、本市の高齢者福祉の象徴的な制度であり残したいの思いから見直すもので、モニター調査だけでなく全数調査、69歳以下のアンケート調査、検討委員会からの提言を参考に市の方針を決め提案した。マニフェストの行財政改革の質的転換を具

水道

月ヶ瀬、都祁地域 差のある簡易水道料金のあり方は

政 友 会

問 簡易水道料金を比較すると、1カ月、口径13メートル、10立方メートルの使用で月ヶ瀬地域が2000円、都祁地域が1580円となり、行政サービスの差が生じている。今後の簡易水道の料金及び事業のあり方は。

答 両地域の簡易水道料金及び施設分担金等は、合併前の料金体系を継承しているため料金には差異がある。公平負担の原則から料金は統一されることが望ましいが、両地域の設備投資の状況が異なり、現在進めている料金算定



月ヶ瀬地区の簡易水道浄水場（月ヶ瀬浄水場）

の基礎となる公営企業法適用化業務の結果を踏まえ、料金体系を検討する中で料金の統一化も併せて検討したい。

マスケットキャラクター 見直す考えは

問 平城遷都1300年祭のマスケットキャラクターがニュースに流れて注目され、インターネットで話題になったが、辛辣なコメントが多かった。このようなマスケットキャラクターを見直す考えは。

答 マスケットキャラクターは、一定のデザイン力を確保するため、プロを対象にしたコンペ方式により選定された。多くの批判は認識しているが、一方で愛称募集に数多くの応募も寄せられている。記念事業の顔であるマスケットキャラクターが皆さんに親しまれるよう、企業等との連携による工夫を凝らし、1300年祭を盛り上げていきたい。

意見書

体的に行う内容と考えており、先に結論があったということではない。

問 民間資金の引き揚げは、民間資金の不足分を公的資金で補てんし、市の負担金を増やすといった考えはない。派遣職員数については、減員する方向で協議を進めている。

1300年祭

民間資金のめど・ 職員の引き揚げは

- ▽メイカルコントロール体制の充実を求める意見書
- ▽割賦販売法の改正を求める意見書
- ▽中小企業底上げ対策の一層強化を求める意見書
- ▽米兵の女子中学生拉致暴行事件に関する意見書
- ▽食の安全・安心の確保に関する意見書

まちづくり

中心市街地活性化に向け 協議会へのバックアップは

創政会

商業、行政等各種機能が集積し、文化や伝統を育んできた「まちの顔」であり、ここを活性化することで、奈良全体が元気になると考える。
基本計画の認定を得てからの取り組みが大切であり、活性化協議会等が行う事業に対し国の支援策等を積極的に活用し、魅力と活力ある中心市街地の形成を目指したい。

問 ならまち、奈良きたまちを含む289ヘクタールを中心市街地とする活性化基本計画が国の認定を得るが、この地域に対する考えは。また、中心市街地活性化協議会へのバックアップが必要では。
答 中心市街地は、古くから

問 土地開発公社経営健全化計画に計上しながら平成20年度で見送ったものが、ならまち周辺で多く見られる。南交番として県に貸している国際交流センター建設用地の残地の買い戻し、ならまち振興館整備事業用地の処置を含め、今後の利用計画と方針は。
答 ならまち振興館用地など

ならまち周辺の公社保有地 今後の利用計画と方針は

市民クラブ

ならまち地区内の土地については、庁内で用途変更も含めて検討を進めており、早期に方向性を定めていきたい。
南交番については、20年度で建て替え計画が進められているため、隣接する土地開発公社保有地を買い取り、地番整理を行った上で、県に有料で貸与することとしている。

教育

老朽化の東登美ヶ丘小学校 大規模改造の進捗状況

問 東登美ヶ丘小学校の改造工事について、平成18年12月の一般質問に、「老朽化が著

と農村部の相互交流を図る市民ふれあい交流事業、土地盤整備や農業施設整備の推進による農林業生産の振興と生産体質の強化などの各施策により、東部地域を活性化させ、若者が魅力を感じ、定住し、郷土に愛着が持てるまちづくりにつなげたい。

30人学級の拡大 施設整備は間に合うのか

問 かねてから求めてきた30人学級について、平成20年度は幼稚園と小学校2年生までは幼稚園と小学校2年生まで拡大されるが、教室などの施設整備は間に合うのか。
答 19年度は1年生全クラスにおいて30人学級を基準とし

しいことから耐震診断を実施した結果、相当大規模な工事となる。今後は実施に向け努力する」と答弁されているが、現在の進捗状況は。
答 相当大規模な工事となるため、工事内容等の見直しを含め協議を行ってきた。その



建て替え予定の南交番(井上町)

市民生活

肝炎専門相談外来設置は 市立奈良病院に

公明党奈良市議会議員団

問 C型慢性肝炎と診断された患者はウイルスの量や遺伝子のタイプにより、適した治療方法等の相談が必要となる。

間、住宅開発とけいはんな線開通に伴う人口構成の変化等による児童数の増加など新たな課題も出てくることから、再度、20年度に改造に向けた工事設計を行う。学校、地域及び関係各課と協議を進め大規模改造を実施していきたい。

災害時要援護者 支援体制の構築を

問 災害時要援護者の名簿作成や支援体制の構築は、あまり進んでいない。理由は、個人情報保護が優先し把握が難しいことが挙げられるが災害時の支援活動に支障を来すのでは。
答 災害時に要援護者の安否を確認し迅速に救助・救援活動を開始するには、市と地域の自主防災組織との要援護者情報の共有と活動の連携が最も重要である。そのため、民生児童委員の個別訪問により同意を基本とした情報収集を行った上、名簿を作成し、民生児童委員協議会に情報を提供するとともに、自主防災組織とも覚書を交わし、提供していきたい。

後も存続していく考えは。
答 提言では「人権文化センターが果たす役割はなお大きいものがある。地域の実情やセンターの活動状況を勘案し、統廃合についても市が主体性を持って判断する」とされている。今後は、広く市民が利用でき、住民交流や福祉と人権の拠点施設として存続すべきと考えている。

中心市街地の交通渋滞 抜本的な対策は

問 本市の道路整備は進んでいるとは言えず、公共交通機関が十分機能するための交通政策も確立していない。特に、観光シーズンの渋滞は深刻な状態にある。
中心市街地の交通を円滑にするための抜本的な対策は。
答 国・県において設置される市も参画する「奈良中心市街地交通処理対策検討委員会」が渋滞対策の方向性を打ち出

人権文化センター・ 児童館の存続を

問 奈良市人権文化センター等のあり方に関する検討委員会から提言が出されたが、今

市立奈良病院に肝炎専門相談外来等、治療相談に依る体制を設置する考えは。また、一般肝炎患者を支援する今後の取り組みは。
答 現在、消化器科において火曜日と木曜日、日本肝臓学会の専門医を中心にさまざまな肝臓病の診断と治療を実施

し、C型・B型肝炎については県内有数の実績を上げている。また、来年度早期に（仮称）消化器・肝臓病センターを設置し、特にC型・B型肝炎を念頭に置きチーム医療を進める予定であり、一般肝炎患者にも今まで以上の役割が果たせるものと考えている。

会派構成の変更

去る3月31日、天野秀治議員が政翔会を退会しました。
会派構成は次のとおりです。

- 政翔会9人、公明党市議会議員団7人、創政会7人、日本共産党市議会議員団7人、政友会4人、市民クラブ3人、無所属6人、欠員3人

議会運営委員等の辞任・就任

- 議会運営委員会
天野秀治議員（政翔会）
○議会だより編集委員会
天野秀治議員（政翔会）就任
- 議会運営委員会
奥田正治議員（政翔会）
○議会だより編集委員会
三浦教次議員（政翔会）

請願

▽イラク・インド洋からの自衛隊の完全撤退を求める請願書
請願者 〃

- 奈良市平和委員会
会長 宮崎 快麿氏
外1名
(不採扱)

予算特別委員会の審査概要

委員会は、3月11日、13日、14日、17日及び18日の5日間開き、付託された平成20年度予算案及び関連する議案の69議案について審査しました。以下は、委員会審査での質疑と答弁の要旨です。

財政調整基金

財政調整基金の状況と財源不足の対策は。

平成18年度末の基金残高は30億1263万6000円、19年度取り崩し予定は6億9000万円である。平成20年度予算の収支不足額は約60億円で、計画と20億3000万円の差があり、基金の取り崩しで対応した。

管理職の増

管理職数、審議会数が増えているが、

管理職は合併により組織が増えたこと等が増加要因としてあり、団塊の世代の退職人数と管理職に上げる人数等の精査をしていきたい。

合併に伴う交付税措置

合併に伴う地方交付税による支援措置は。

普通交付税の算定方法に15年間特例が適用されるほか、平成21年度まで毎年5億円が算入され、特別交付税も17年度から3カ年で4億3000万円算定される予定である。また合併特例債償還額の70%が交付税として補てんされる。

政策監の位置づけ

政策監の機能強化のための明確な位置づけは。

政策監は、市のまちづくりと行財政改革の重要施策について庁内の総合調整を図るために設置し、市長の特命事

予算特別委員

- 委員長 蔵之上政春
- 副委員長 東久保耕也
- 天野 秀治 植村 佳史
- 柿本 元氣 藤本 孝幸
- 北村 拓哉 三浦 教次
- 中西吉日出 北 良晃
- 高杉美根子 松村 和夫
- 井上 昌弘 西本 守直
- 上原 嵩 高橋 克己
- 金野 秀一 大谷 督

同和行政

同和行政にかかわっての「助役の依命通達」の破棄は、行政効果を上げるために

消防団条例改正案

消防団条例の一部改正案は、憲法第21条などに抵触する可能性があるのでは。

消防団は消防本部と同様の公的機関と位置づけられており、立場を利用して政治活動等を自由に行うことは社会通念上好ましくないと考える。

危機管理の対応

危機管理対応は。また、災害対策本部の場所は適正か。

危機管理指針に基づき危機管理対応マニュアルを早急に作成したい。対策本部は、



保育環境の整ったもとでの楽しい保育(朱雀保育園)

少子化対策

少子化問題を総合的に取り扱う課の必要性は。

少子化対策は、関係部局が連携して取り組むことが効果的な対策を推進する上で重要である。子育て課を窓口課として部局間の連携を強化し、協議会の検討もしながら総合的な対策に取り組みたい。

放課後子ども教室

放課後子ども教室の今後

の取り組みは。

平成20年度は実施校を10校に増やし、活動内容を充実させ取り組むとともに、指導者の養成に努め、バンビーホームとの連携も実施していきたい。今後は、全校区実施に向けて、実施校区を増やしていきたい。

老春手帳の制度改正

老春手帳優遇措置事業の改正案については10月実施を凍結し、検討すべきでは。

本会議等で多くの意見をいただき、議会で審議を継続していただくことが必要と考える。10月実施を目前に、検討結果が出るまで現行制度を継続し、映画館無料入場券も現行のまま継続したい。

保育園施設整備

保育園の施設整備は。

保育園の建物や設備は年次的に計画性を持って維持・改善に努めており、安全にかかわるものは優先して修繕に努めている。保育環境の整ったもとでの保育を推進するためには、民間活力の活用も視野に入れ、検討しなければならぬと考えている。

学童保育

学童保育の設置・運営基準を作成する必要性は。

厚生労働省の示すガイドラインは、子どもの発達・成長に望ましい内容が示されて

おり、積極的に活用すべきと考える。学童保育の基準作りは、他都市の設置・運営基準の状況を調査研究していく。

針テラス土地使用料

針テラス土地使用料の未納額とその理由、市の対応は。

平成20年3月10日現在で合計1億6200万円が未納である。土地使用料が不当に高額と主張しているためで、現在、調停の場で相手方の財務状況を確認している。法的手段や契約解除も考慮に入れ、毅然とした姿勢で臨みたい。

市立奈良病院の建て替え

市立奈良病院の建て替え計画は。

病院の南側の職員駐車場等のある場所に建設する計画であり、平成20年度後半には基本設計、地元説明、予定地の建物撤去の段階に進めたい。22年度から建設に入り、24年度前半には完成させたい。

水道事業財政状況

水道事業の財政状況は。

料金収入が計画を下回っているが、工事負担金等の収入増により、平成20年度末の資金留保額は9億1541万4000円を見込んでいます。従前の財政計画よりも好転しているが、17年度から料金収入は前年度を下回っており、かなり厳しい状況にある。

宅地造成事業健全化

活用見込みの立たない未成土地は、早急に計画を立て整理すべきでは。

未成土地については、市民にとってより負担が少なく、有効的な活用を図ることができるよう計画を立てていく必要があると考えている。

老春手帳優遇措置事業検討特別委員会の設置

老春手帳優遇措置事業について、バス優待乗車時に1000円、公衆浴場入場時に100円(共同浴場500円)の一部負担を求め、映画館無料入場は平成20年度から廃止する制度改正案が市長から提案されましたが、これに対し議員からの意見が相次いだことから、当事業をあらゆる角度から調査、検討を行うため、老春手帳優遇措置事業検討特別委員会を設置し、閉会中も審査を行うこととしました。

- 委員 大谷 督 三浦 教次 山口 誠
- 副委員長 北 良晃 井上 昌弘 蔵之上政春
- 植村 佳史 柿本 元氣 上原 嵩 岡本 志郎
- 山中 益敏 松岡 克彦

選挙管理委員決まる

任期満了に伴う奈良市選挙管理委員会の委員及び同補充員の選挙を3月21日の本会議で行い、次の方が当選しました。(敬称略)

- 選挙管理委員
- 西久保武志 吉田 恒俊
 - 王永 進 阪田 義博
 - 大西 敏之 徳田 幸子
 - 河村 武 西田 浩
- ※委員が欠員となった場合、補充する順序は掲載順です。

主な議決結果

3月定例会で議決したその他主な議案は、次のとおりです。

件名	結果
奈良市特別職の職員に関する条例等の一部改正	可決
固定資産評価審査委員会の委員の選任	同意
田邊章三氏の選任	同意
人権擁護委員の候補者の推薦	同意
笠原俊彦氏、福西智子氏の推薦	同意
議長不信任の動議	否決